

琉球大学学術リポジトリ

「授業と学習集団」に関する研究文献(1) (1980～84)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2007-07-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤原, 幸男, Fujiwara, Yukio メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/1094

「授業と学習集団」に関する研究文献(1) (1980年～84年)

藤原 幸男

A List of Literature on "Teaching and Learning Collectiv"
in Japan (1) (1980 ~ 84)

Yukio FUJIWARA*

(Received November 30, 1989)

凡例

1 「学習集団」の規定

「学習集団」という概念は、学校教育や授業の思想としても語られ、また教育の方法としても、さらに教育内容としても(学習のもつ集団性を教える、というように)語られる(折出健二「学習集団に関する研究文献」1980年3月、8ページ)。この点からすれば、「学習集団」は、学習の集団性に立脚した授業指導体系をあらわす概念だと、広く押さえた方が都合がよい。

本文献目録でも、このような把握にたって、単に授業形態や「学習にとりくむ集団」の指導だけでなく、「授業と学級づくりの関連・統一」、「教科内容の指導と学習集団の指導の関連・統一」、めざすべき授業像などについての原理的検討および実践的展開をも含みこんでいる。さらに、教材づくり・教材研究・教材分析とも関連してくるので、「文学作品の読み方指導論」、「説明的文章の読み方指導論」なども、部分的に取り入れている。授業づくりに関って、「発問と集団思考」関係文献も収録している。

2. 収録範囲

(1) 「学習集団」を学習の集団性に立脚した授業指導体系だとすると、その方面で積極的・意欲的に取り組んできた教育研究団体を中心にとると、

研究の質的發展を押さえやすい。

ここでは、全授研(全国授業研究協議会)、全生研(全国生活指導研究協議会)、吉本均を中心とする学習集団研究グループ、の三団体を中心にすえた。そのほか、教科教育研究団体における学習集団の研究(たとえば、技術・家庭科における産業教育連盟の研究、体育科における学校体育同志会の研究)も収録した。

また、「授業と集団」に独自の角度からアプローチしている仮説実験授業や、「指示」論・「討論」論を中心とした「法則化運動」の研究動向も収録した。

(2) 明治図書編集・発行の諸雑誌などは、「授業と集団」についての論議の場を提供してきたので、これらも収録した。

3 収録文献と収録方法

(1) 単行本(著書・編著)

(2) 雑誌

『生活指導』明治図書(全生研の機関誌)

『学習集団研究』明治図書(吉本学習集団研究グループの編集雑誌)

『現代教育科学』明治図書

『授業研究』明治図書

『特別活動研究』明治図書

『小学校学級経営』明治図書

* College of Education, University of the Ryukyus

『中学校学級経営』 明治図書
 『高校生活指導』 明治図書
 『教育科学・国語教育』 明治図書
 『国語教育評論』 明治図書
 『体育科教育』 大修館書店
 『学校教育』 広島大学付属小学校・学校教育研究会
 『教育研究』 筑波大学付属小学校・初等教育研究会
 『児童心理』 金子書房ほか

- (3) 編著および雑誌の特集については、できるときり所収論文を取り出した。
 (4) 雑誌については、たとえば1980年4月号は80.4の欄に入れ、号数を括弧で記入した。

4 先行の文献目録

文献目録の作成にあたっては、下記の先行文献目録を利用した。

- (1) 小田切正「『集団思考と授業集団の構造』研究の文献解題」(『現代教育科学』1968年9月)
 (2) 「参考文献」(『学級集団づくり入門・第2版』明治図書、1971年)
 (3) 折出健二「学習集団に関する研究文献」(文部省科学研究費による研究資料、1980年3月)
 (4) 遠藤芳信「現代訓育論関係文献目録」(『教育学研究』第47巻第2号、1980年3月)
 (5) 恒吉宏典「学習と参考のための文献解題」(桂正孝・恒吉宏典編『生活指導の計画と展開』第一法規、1984年6月)
 (6) 遠藤芳信「授業と学習集団の指導の研究文献」(『生活指導、臨時増刊、授業・学習集団の指導をどうすすめるか』明治図書、1986年4月)
 (7) 吉本均「人間を教えるとは何か——わたしの教授学的思索の歩み——」(広島大学最終講義資料、1987年2月)

年月	著書・論文	所収雑誌・出版社
80. 1	吉本均「学級が授業を変え、授業が学級を変える」(『学校教育』750号)	
	桑原昭徳「授業のなかで指導する学習内容以外のこと」(同上)	
2	桑原昭徳「学習規律としての『発表のしかた』の分析」(『学校教育』751号)	
2	豊田久亀『学力と学習集団の理論』明治図書	
3	桑原昭徳「学習規律としての『発表のしかた』の分析(2)」(『学校教育』752号)	
3	豊田久亀「学習集団研究(1)」(『大阪市立大学文学部紀要『人文研究』第32巻第11分冊)	
3	桑原昭徳「各教科に共通する学習規律の意識調査と類型化の試み(1)——『発表の仕方』の場合」(『新見女子短期大学紀要』第一巻)	
4	「特集・授業を支える学級づくりの条件」(『授業研究』207号)	
	吉本均「『応答し合う関係』の質的發展として」	
	蓮見悟「学級集団づくりによる学級づくりと授業」	
	早田修三「学習集団づくりによる学級づくりと授業」	
	須藤猛「よい授業をつくる学級づくりのポイント」	
	高木敏治「学級づくりの質は授業にどうかかわるか」	
	松浦守男「小・5・6年、学級づくりと授業」	
4	豊田久亀「学習活動と学習(学級)集団」(歓喜隆司・木下繁弥編『教科教育の課題と展望』第一法規)	
5	吉本均ほか「集団思考の深化と組織化のための『指導言』の分析」(広島大学教育学部学部・付属共同研究体制『研究紀要』第8号)	
5	吉本均編『講座・現代教授学、1、授業成立の教授学』明治図書	
	吉本均「授業成立の基本条件」	
	深沢広明「学級教授組織の系譜とその今日的意義」	

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
80. 5	岩垣攝「学校教育における授業の役割」 諸岡康哉「自治的集団と学習集団の指導」 小野弘男「教科内容の編成と教材の配列」 折出健二「学習集団の今日的段階」 寺尾慎一「学習集団指導における統一と分化」 湯浅恭正・上野ひろ美「能動的学習の成立条件」
5	吉本均編『講座・現代教授学、2、授業における発達の教授学』明治図書 鈴木秀一「子どもの発達と授業の課題」 豊田久亀「授業における陶冶と訓育」 石川正和「授業における訓育の独自性」 武田紘一「授業の指導と人格発達」 大概和夫「授業の指導と知的発達」 岸光城「授業の指導と学習意欲」 桑原昭徳「『つまづき』の教授学的意義」 本田敏明・久田敏彦「能力発達と集団思考の組織化」
5	吉本均編『講座・現代教授学、3、授業展開の教授学』明治図書 柴田義松「教師の指導と子どもの自己活動」 井田薫「学習規律の指導と評価活動」 山下政俊「教材、教材解釈、発問の本質」 高田清「子どもの教材解釈＝習得と学習主体形成」 阿部好策「表現過程＝集団思考の指導」 中野和光「授業における微細計画」 藤原幸男「問題解決の方法と能動的学習」 三橋謙一郎・上野ひろ美・杉山緑・子安潤「教授＝学習過程と媒介的指導」
5	前沢泰「学習集団研の歩み」（『生活指導』271号）
6	吉本均「教科指導における訓育」（『教育学研究』第47巻第2号）
6	吉本均「学習集団研究の理論と方法」（『現代教育科学』283号）
7	磯田一雄「授業論・授業研究をめぐる論争」（久木幸男・鈴木英一・今野喜清編『日本教育論争史録、第4巻、現代編（下）』第一法規）
7	吉本均「『指さし』によるドラマの成立——授業における子どもたちの能動的活動を求めて——」（『学校教育』756号）
7	坂本泰造「書評・『学年別・学習集団の指導』（全6巻）」（『授業研究』211号）
8	全生研常任委員会『学級集団づくりと学習集団』明治図書 春田正治「学級集団づくりと学習集団」 大森弘志「学習集団の指導」 〔実践記録・学級づくりと学習集団〕 海崎義隆「国語（小学校）」 粟田博「体育（小学校）」 小林義明「国語（中学校）」 川辺克己「技術（中学校）」 榎井孝「理科（中学校）」 〔実践記録の分析〕 前沢泰「実践記録の分析」

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
80. 8	「コロキウム2 授業における学習集団」(日本教育学会第39回大会、80. 8. 22)
	・報告 竹内常一
	・討論参加者 恒吉宏典 岩垣攝 豊田久亀 折出健二 砂沢喜代次
8	「特集・学級の『歴史づくり』と授業の成立」(『学習集団研究』第8集、明治図書)
	〔理論編〕
	吉本均「学級が授業を変え、授業が学級を変える」
	折出健二「学力問題と学習集団(試論)」
	寺尾慎一「授業成立の契機とは何か」
	山下政俊「授業を学習集団にするには」
	〔実践編〕
	室百合子「ひとつの目標に向かってがんばる」
	藤田幸恵「『分かりません』発言の広がりと深まり」
	松浦守男「歴史づくりの実践的契機を生かそう」
	小林信次「学習集団と授業の記録」
	田口幸夫「学級集団を自立的な集団に高める」
	西田慶子「共鳴する学習集団を求めて」
	竹田治行「『学級の実力』をどう形成させるか」
	〔研究編〕
	本田敏明「自主学习とは何か — その意義と構造 —」
	久田敏彦・湯浅恭正「子どもの知的能動性と発問構成の原則」
9	吉本均「応答しあう関係をつくり出す技術」(『現代教育科学』286号)
10	「特集・授業の規律とは何か」(『生活指導』276号)
	折出健二「授業の規律とは何か」
	前沢泰「授業の中で何を褒め何を叱るのか」
	〔実践記録・授業の規律とは何か〕
	坂本泰造「授業の中で教師の権威をどう確立するか」
	小林信次「授業の規律をどうしつけるのか」
	田中宏明「発言しないクラスにどう取り組むか」
11	「特集・『学習規律』をどう指導するか」(『特別活動研究』157号)
	高田清「学級集団内部に自己指導力を育てる — 他律的集団から自立的集団へ —」
	〔「学習規律」を創る指導の問題点〕
	山下政俊「認識過程に即した学習の規律(行為)を」
	桑原昭徳「『学級独自の学習規律づくり』のために」
	〔「学習規律」の全員意識化をどう図るか〕
	水谷康徳「小学校下学年段階の問題点」
	竹内一男「小学校上学年段階の問題点」
	西河武「中学校段階の問題点」
	釈鋼二「『学習規律』づくりとリーダーの役割」
	岩崎忠夫「『学習規律』づくりと子ども相互の点検活動」
	〔「学習規律」をどう育てたか〕
	鳥兎沼宏之「やりがいのある作業を」

年月	著書・論文	所収雑誌・出版社
	谷光「学習への意欲を育てるなかで」 田口幸夫「授業を支える学級目標・学習規律づくり」 石井内海「意欲的な学習集団づくりをめざして」 松尾健夫「学習規律を育てる教師の働きかけ」	
11	諸岡康哉「今日の子どもの学習をめぐる問題とその指導」	『学校教育』760号
12	吉本均「『事件』としての授業と『ドラマ』としての授業」	『学校教育』761号
81. 1	吉本均『現代学習集団づくり講話』	東方出版
1	吉本均「学習集団による授業改造の課題」	『現代教育科学』290号
1	大畑佳司『つまずく子どもを救う法』	教育資料出版会
1	子安潤「教育課程における教育目標の計画」	『学校教育』762号
1	藤原幸男「文学作品の読みと学習集団の指導」	『教育科学・国語教育』284号
2	大槻和夫「『励まし合いの教育』をつくり出すために——授業を中心に——」	『学校教育』763号
2	早田修三「『授業と集団の理論』との出会い」	『現代教育科学』291号
2	吉本均「子どもが学びがいを感じる授業とは／『ドラマ』として授業を成立させること」	『授業研究』219号
2	桑原昭徳「学びがいのある授業づくり・そのポイント」	『授業研究』219号
2	「特集、グループ学習再考」	『体育科教育』29巻2号
	荒木豊「今なぜグループ学習なのか」 出原泰明「グループ学習の基本的な進め方」 岡田和雄「運動文化の学習とグループ学習」	
3	吉本均「学級経営における励まし方の工夫」	『児童心理』418号
3	古賀佐徳編『教科の本質を追求する学習集団づくり』	明治図書
3	諸岡康哉「授業における規律についての教授学的考察」	『金沢大学教育学部紀要（教育科学編）』第30号
3	三橋謙一郎「授業における指導的評価活動に関する一考察」	『教育方法学研究』第6巻
3	子安潤「仲間とともにわかる授業をめざして」	『学校教育』764号
4	吉本均「連載講座・学級が変われば授業が変わる」	『特別活動研究』162～173号、81.4～82.3
	1 共感的要求としての指導性の確立（その1）	（81.4）
	2 共感的要求としての指導性の確立（その2）	（81.5）
	3 共感的要求としての指導性の確立（その3）	（81.6）
	4 授業成立の技術と思想（その1）	（81.7）
	5 授業成立の技術と思想（その2）	（81.8）
	6 授業成立の技術と思想（その3）	（81.9）
	7 授業成立の技術と思想（その4）	（81.10）
	8 授業成立の技術と思想（その5）	（81.11）
	9 「教える」と「学ぶ」ことの統一	（81.12）
	10 陶冶と民主的訓育の統一	（82.1）

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
81. 4	11 「指導する」と「評価する」ことの統一 (82. 2) 12 「事件」としての学級経営から「ドラマ」としての学級経営へ (82. 3)
4	「特集・若い教師のための生活指導入門」(『生活指導』284号)
	釈綱二「教科指導と集団づくり(小学校)」
	川辺克己「教科指導と集団づくり(中学校)」
4	吉本均「授業で何を学ばせるか——『やる気』を育てる指導とは何か——」(『学校教育』765号)
5	吉本均編『教授学重要用語300の基礎知識』明治図書
5	「特集・『授業の成立』を求めて」(『現代教育科学』294号)
	〔「授業の成立」のために何が問われているか〕
	吉本均「授業の『ドラマ』と教師の指導性」
	鈴木秀一・大田邦郎「高等学校における『授業』の成立」
	磯田一雄「『絶えざる追求』があるということ」
	〔「授業の成立」のための基礎条件を考える〕
	坂本泰造「学級集団づくりはどうかかわるか」
	北林正「教材解釈はどうかかわるか」
	向山洋一「授業展開はどうかかわるか」
	野崎坦良「学習集団の形成はどうかかわるか」
	諸岡康哉「教師にとって授業とは何か——『授業の成立』における教師の指導性——」
4	寺尾慎一「能動的学習へ子どもをどう導くか——『授業の成立』における子どもの問題——」
	〔授業を成立させるために学級で取り組んできたこと〕
	須藤猛「授業を成立させるためのわたしのプラン」
	長根直幸「学習の『成立』と授業の『成立』」
	阿部健児「討論のできる授業をめざして」
	小野寺明男「導入段階でじっくり模索」
6	「特集・授業をどうつくりかえるか」(『高校生活指導』57号)
6	折出健二「学習集団研究の総括と研究課題」(『授業研究』224号)
6	広島大学付属小学校編『教科の本質を問う学習集団』広島大学付属小学校
7	子安潤「教材をつくる一つの視点」(『学校教育』768号)
8	「特集・学習集団指導の技術体系」(『学習集団研究』第9集、明治図書)
	〔理論編〕
	吉本均「学習集団の技術と思想」
	上野ひろ美「技術としての『評価活動』」
	黒田耕司・杉山緑「技術としての『語りかけ』」
	久田敏彦「技術としての『問いかけ』」
	湯浅恭正「技術としての『ゆさぶり』」
	小野拓男「『からめ合い』の技術と思想」
	〔実践編〕
	相原信也「『語りかけ』を中心にした実践」
	長崎県北魚目小「教師の『問いかけ』の条件」

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
81. 8	<p>西本正頼「互いに高まり合うための『ゆさぶり』」 西英喜「『からめ合い』によるわかる授業の組織化」 青森県百沢小「『相互交流』を中心にした実践」 古賀正能「学習集団と『評価活動』の実践」 兵庫県別所小「子どもを変える『評価活動』」 〔理論講座〕 豊田和子「遊び指導における『放任』と『専制』」 〔海外の動向〕 深沢広明「授業過程のドラマ的性格」</p> <p>小野拓男ほか『学級づくりと全員参加の授業、小学校低学年』明治図書 学級づくりと全員参加の授業（小野拓男） 小学一年の学級づくりと「学習要求」の育て方（相川敏治） 小学二年の学級づくりと「学習要求」の育て方（金子節子） 小学一年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（原田明美） 小学二年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（高橋フミ） 小学一年の学級づくりと授業の展開（桑田秀寿） 小学二年の学級づくりと授業の展開（長根直幸）</p> <p>寺尾慎一ほか『学級づくりと全員参加の授業、小学校中学校』明治図書 学級づくりと全員参加の授業（寺尾慎一） 小学三年の学級づくりと「学習要求」の育て方（井上和昌） 小学四年の学級づくりと「学習要求」の育て方（米崎忠） 小学三年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（田中定幸） 小学四年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（辰己国雄） 小学三年の学級づくりと授業の展開（小林信次） 小学四年の学級づくりと授業の展開（佐藤大介）</p> <p>豊田久亀ほか『学級づくりと全員参加の授業、小学校高学年』明治図書 学級づくりと全員参加の授業（豊田久亀） 小学五年の学級づくりと「学習要求」の育て方（武川圭一） 小学六年の学級づくりと「学習要求」の育て方（松浦守男・相原信也） 小学五年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（津田八州男） 小学六年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（増谷謙也） 小学五年の学級づくりと授業の展開（坂本泰造） 小学六年の学級づくりと授業の展開（野崎坦良）</p> <p>大西忠治ほか『学級づくりと全員参加の授業、中学校』明治図書 学級づくりと全員参加の授業（大西忠治） 中学一年の学級づくりと「学習要求」の育て方（岡本輝昭） 中学二年の学級づくりと「学習要求」の育て方（竹田綾子） 中学三年の学級づくりと「学習要求」の育て方（鈴木雅次） 中学一年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（浜崎均） 中学二年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（西河武） 中学三年の学級づくりと「自主的学習態度」の育て方（尾木直樹）</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
81. 8	中学一年の学級づくりと授業の展開 (樹井孝) 中学二年の学級づくりと授業の展開 (辛島和雄) 中学三年の学級づくりと授業の展開 (杉本朝夫) 藤原幸男ほか『子どもをどうとらえるか、小学校低学年』明治図書 [授業の中で子どもをとらえ直す] 子どもをとらえ直し、自分を見つめる (松本美律枝) 文章表現を通して子どもをとらえ直す (錦田唯雄) 感動と連帯を創造する (茂山忠茂)
8	高田清ほか『子どもをどうとらえるか、小学校中学校』明治図書 [授業の中で子どもをとらえ直す] 正しく与えるという営み (藤原義隆) 児童詩でとらえた子どもの姿・心 (香村克己) 子どもは多様で、その考え方も多様だ (山形英二)
8	小田切正ほか『子どもをどうとらえるか、小学校高学年』明治図書 [授業の中で子どもをとらえ直す] 能動的に授業に取り組む子どもを育てる (相川敏治) 子どもの心とくらしに感動を (岡本博文) ひとりの子の瞳を見つめながら (橋本誠一)
8	折出健二ほか『子どもをどうとらえるか、中学校』明治図書 社会科の授業の中で子どもをとらえる (村田徹也) 子どもは学習・授業の主体者である (有木勇) 発達をうながす切り口を求めて (新庄久芳)
8	坂本泰造『授業に挑む』明治図書
8	坂本光男・前沢泰・大畑佳司・横川嘉範編『中学生の生活指導』(全3巻) 明治図書
8	本間繁輝・釈鋼二編『学級集団でとりくむ授業』あゆみ出版
9	家本芳郎・佐藤功『授業態度』あゆみ出版
9	吉本均「小集団学習の入れ方に問題はないか／対立・分化から共感・統一への過程のなかで」(『授業研究』227号)
9	「特集・授業と生活指導」(『生活指導』289号) 中野光「授業と生活指導 — 三つの実践記録から —」 前沢泰「授業のなかでの教師と子ども — 授業を成立させるために —」 横川嘉範「生活と学習」 [実践記録・学習集団をどう成立させたか] 前原恵美「線対称の意味をおさえる指導をどう行なったか」 小島昌世「Invitation to English Poems — ぼくの声、教室のうしろまでとどいたよ —」
9	吉本均「子どもの可能性を引き出す授業の論理」(『体育科教育』第29巻10号)
9	子安潤「教材と評価の場としての教科通信」(『学校教育』770号)
10	子安潤「教材づくりの方法論」(『学校教育』772号)
10	吉本均「がんばり抜く子どもを育てる学級経営」(『児童心理』426号)
11	西英喜「学習集団による『わがる授業』の組織化 — 「からめ合い」のある国語授業 —」

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
81. 12	<p>(『学校教育』772号)</p> <p>研究部・西英喜「自己実現をめざす国語科授業の改造と学習集団」(同上)</p> <p>子安潤「二つの立場からみる歴史教材づくり」(同上)</p> <p>徳永隆治「指導的評価活動としての役割も大きい学級通信」(同上)</p> <p>高田清「学ぶことの『楽しさ』と『喜び』の指導」(『学校教育』773号)</p> <p>研究部・西英喜「自己実現をめざす社会科授業の改造と学習集団——指導的評価活動の視点より——」(同上)</p>
82. 1	<p>研究部・西英喜「自己実現をめざす音楽科授業の改造と学習集団——指導的評価活動を視点にして——」(『学校教育』774号)</p> <p>子安潤「授業設計の五つの局面(1)」(同上)</p> <p>1 藤原幸男「戦後授業論に見る子どもの生かし方」(『教育科学・国語教育』)</p> <p>2 小林一久「はげましあいのある体育の授業」(『学校教育』775号)</p> <p>研究部・西英喜「自己実現をめざす算数科授業の改造と学習集団——指導的評価活動の視点より——」(同上)</p> <p>子安潤「授業設計の五つの局面(2)」(同上)</p> <p>2 吉本均・加藤誠一編『達成目標を明確にした授業づくり入門』明治図書</p> <p>2 小林一久『達成目標を明確にした授業づくり入門』明治図書</p> <p>2 豊田久亀『学習集団の授業とは何か』明治図書</p> <p>2 桑原昭徳『学級における授業の成立』明治図書</p> <p>3 徳永隆治「主体的な体育学習の確立をめざして——二年生における教材づくりと指導的評価活動のあり方——」(『学校教育』776号)</p> <p>小林一久「徳永実践をみて」(同上)</p> <p>研究部・西英喜「自己実現をめざす体育科授業の改造と学習集団——指導的評価活動の視点から——」(同上)</p> <p>3 折出健二・加藤辰雄「文学作品をどう読ませるか——『注文の多い料理店』(宮沢賢治作)の形象読みと『指導言』——」(『愛知教育大学教科教育センター研究報告』第6号)</p> <p>3 高揚昭次『いま、学校・学級をかえるには——集団の美・学級の規律と授業の創造——』ぎょうせい</p> <p>3 高橋廉「学習に取り組む学級集団をめざして」(『生活指導』297号)</p> <p>3 桑原昭徳「一年間のまとめの活動がなぜ必要か」(『特別活動研究』173号)</p> <p>4 神津弘之「子どもが働きかけ、わかり合う理科の学習指導」(『学校教育』777号)</p> <p>武村重和「教材のゆさぶりと集団のゆさぶり」(同上)</p> <p>研究部・西英喜「自己実現をめざす理科授業の創造と学習集団——指導的評価活動の視点より——」(同上)</p> <p>4 吉本均「連載講座・現代教授学研究の課題Ⅱ」(『現代教育科学』305～316号、82.4～83.3)</p> <p>1 出席と参加の論理、通過と経験の論理(82.4)</p> <p>2 教育的行為の本質と技術(82.5)</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	3 媒介の技術と構想力の論理 (82. 6) 4 授業の成立と構想力 (82. 7) 5 対立・分化の構想と学習集団 (82. 8) 6 授業のタクトとして構想力 (82. 9) 7 学習集団における教師のタクト (82. 10) 8 対立・分化から共感・統一へのタクト (82. 11) 9 学習集団のドラマが成り立つ時 (82. 12) 10 「歴史づくり」と主体的経験のドラマ (83. 1) 11 教えることの「技術」思想の成立 — 人間「自然」概念の変化を中心として— (83. 2) 12 教えることの「技術」思想の成立 — 「適応」の技術から「発達」の技術へ— (83. 3)
82. 4	豊田久亀「連載講座・授業と学習集団づくり」(『授業研究』 234～247号、82. 4～83. 3) 1 子どもを学習の主体にする (82. 4) 2 学習集団の授業指導技術 (82. 5) 3 学習集団指導技術論(その1) (82. 6) 4 学習集団指導技術論(その2) (82. 7) 5 学習集団と集団思考 (82. 8) 6 子どもを育てる授業 (82. 9) 7 学級で授業をするとき (82. 10) 8 学習集団の指導と学習権の問題 (82. 11) 9 授業と発問 (82. 12) 10 学ぶ主体を育てる (83. 1) 11 学習集団と生活綴方 (83. 2) 12 学級という集団で学ぶ (83. 3)
4	「特集・授業びらき — 教室経営の新しい方向」(『授業研究』 234号) [提言・授業びらき — 教室経営の新しい方向] 小野拓男「授業で『学級の実力』を高めること」 [授業びらきで子どもに何を要求するか] 佐藤大介「教師の要求をつきつける授業びらきを」 北林正「感動の深さを読みとる討論の中で」 [わかる授業づくりへの見通しをどうたてるか] 子安潤「全員発言の授業をどうつくるか」 諸岡康哉「つまずきを生かす授業をどうつくるか」
4	大西忠治「集団指導の試み — 集団主義教育」(『授業改革事典 2、授業の設計』 第一法規)
4	「連載・集団づくり入門 — 学習集団」(『生活指導』 298～302号、82. 4～8) 1 学習集団(1)(中村勝彦) (82. 4) 2 学習集団(2)(児山正明) (82. 5) 3 学習集団(3)(蓮見悟) (82. 7) 4 学習集団(4) — 授業を成立させるために(2) — (蓮見悟) (82. 8)
4	吉本均「授業の魅力育てるグループ学習」(『児童心理』 433号)

年月	著書・論文	所収雑誌・出版社
82. 4	吉本均「授業における『出席』と『参加』と『経験』」(『学校教育』777号)	
5	恒吉宏典ほか「主体的・集団的学習活動成立のための指導技術の実証的研究—社会科『低地のくらし』の授業分析を中心に—」(広島大学教育学部 学部・附属共同研究体制『研究紀要』第10号)	
5	佐々有生「想を育て、表現を深めるには—人物表現の指導(一年生)—」(『学校教育』778号)	
	橋本泰幸「造形科授業検討」(同上)	
	研究部・西英喜「自己実現をめざす造形科授業の改造と学習集団—指導的評価活動を視点にして—」(同上)	
6	子安潤「授業における働きかけの技術化を—さとうきびづくりの授業—」(『学校教育』779号)	
6	桑原昭徳『“学級の歴史づくり”の理論と方法』東方出版	
6	吉本均『ドラマとしての授業の成立』明治図書	
6	折出健二「学習集団研究の総括と研究課題」(『授業研究』237号)	
6	吉本均「『よい』授業から『すぐれた』授業へ」(同上)	
6	吉本均「授業展開の力量とは何か—教師のどんな指導性が問われるのか—」(『授業研究』236号)	
6	吉本均「授業展開の力量とは何か—授業を学習集団として発展させるために—」(広島大学附属小学校編『自己実現をめざす学習集団』広島大学附属小学校)	
6	広島大学附属小学校・学校教育研究会編『自己実現をめざす学習集団』広島大学附属小学校	
6	「特集・学習拒否にとりくむ授業」(『高校生活指導』62号)	
6	板家勝野『学習集団による同和教育の授業』東方出版	
7	吉本均「いま、なぜ『ドラマとしての授業』なのか」(『学校教育』780号)	
7	岩垣挿「子どもが生かされる授業とは」(『学校教育』780号)	
	石川正和「学習集団の発達論的基礎—やる気を育てるとは何か—」(同上)	
8	西英喜「国語授業における『集団思考』の成立」(『学校教育』781号)	
	桑原昭徳「授業の楽しみと歓び—教室にロマンを求めることはできないか—」(同上)	
8	折出健二『学習集団の指導過程論』明治図書	
8	大西忠治『教師の「指導」とは何か』明治図書	
8	大畑佳司・横川喜範・坂本光男・前沢泰編『小学生の生活指導』(低・中・高学年)明治図書	
9	「特集・今なぜ『学習集団の指導』が必要か」(『現代教育科学』310号)	
	折出健二「『学習集団の指導』の実践課題は何か」(誌上シンポジウム提案)	
	[提案に対する意見]	
	① 大西忠治「ふり出しにもどって『学習集団』を問いたい」	
	② 坂本泰造「もっと実践につきささる提起を」	
	③ 村田徹也「教材内容とのかかわりを重視」	
	④ 出原泰明「『教科固有の認識方法』をめぐる」	
	⑤ 野崎坦良「たしかな実践の事実をつくること」	
	⑥ 向山洋一「原理に基づく課題の解明を」	

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
82. 9	<p>高田清「戦後『学習集団』論はどう問題になってきたか」 〔学習集団における「班」を媒介とする指導の問題点〕</p> <p>大畑佳司「小学校段階における『班』の媒介的指導」</p> <p>池田憲一「中学校段階における『班』の媒介的指導」</p> <p>川辺恵「高校段階における『班』の媒介的指導」</p> <p>早田修三「学習集団における規律づくりの問題」</p> <p>桑原昭徳「学習集団における発問づくりの問題」</p> <p>友野重紀「学習主体を育てる社会科授業の設計 — 地域学習を中心にして —」（『学校教育』782号）</p> <p>伊東亮三「社会科授業で学習主体を育てる場と方略と形態」（同上）</p> <p>三橋謙一郎「算数科における指導的評価活動」（同上）</p> <p>9 豊田久亀「学級集団で学習するとはどういうことか」（『学習指導研修』83.9）</p> <p>10 吉本均「打ちこむ意欲を育てる学級経営」（『児童心理』440号）</p> <p>10 西英喜「指導的評価活動を取り入れた表現・理解の学習 — 物語文『かわいそうなぞう』（2年） —」（『学校教育』783号）</p> <p>大槻和夫「指導的評価のあり方を探る」（同上）</p> <p>徳永隆治「体育の授業と学級づくり — 教科活動と教科外活動の統一的指導による民主的・自治的な学級集団の育成をめざして —」（同上）</p> <p>10 大槻和夫編『達成目標を明確にした国語科授業改造入門』明治図書</p> <p>10 『教育実践事典』第4巻、労働旬報社 2 IV 学習にとりくむ学習集団の指導 — 学習集団の指導（小林信次・田中実・加藤元康）</p> <p>11 高場昭次『現代／学習集団の授業入門 — 学習集団づくり・18のポイント』東方出版</p> <p>11 徳永隆治「学習主体を育てる体育の授業 — 課題提示と指導的評価活動 —」（『学校教育』784号）</p> <p>12 小林一久「『学習行為の特質』と体育の授業」（同上）</p> <p>12 長沢憲保「授業における個と集団の弁証法を求めて」（『学校教育』）</p> <p>12 山下政俊「授業指導と学習集団形成の構想 — 学習集団と学習主体の形成の具体的すじ道 —」（『生活指導』307号）</p> <p>竹内静代・小島昌世「子どもの見える『学習集団』研究を」（同上）</p>
83. 1	<p>「特集・授業の規律をどう確立するか」（『生活指導』308号）</p> <p>能重真作「授業が成立しない教師の共通点」</p> <p>村越純夫「荒れる子どもとはどんな子どもか」 〔実践記録・授業の規律をどう確立するか〕</p> <p>伊沢良治「授業を成立させる全校的取り組み」</p> <p>蓮見悟「荒れた学級にどう取り組んだか」</p> <p>浅見慎一「祐介 — そして授業のトーン」</p> <p>林友三郎「分析・三氏の実践記録を読んで」</p> <p>1 大西忠治・授業技術研究所編『国語教育評論』第1号、明治図書</p> <p>折出健二「教師の指導言とは何か — とくに教師の発問について —」</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
83. 1	<p>大西忠治「提案・学習集団とは何か」</p> <p>鈴木秀一「意見・物足りないところと同感するところと」</p> <p>柴田義松「意見・学習の集団性と個人的性格との矛盾の解明」</p> <p>折出健二「授業における訓育の理論的検討」(『愛知教育大学研究報告(教育科学編)』第32号)</p> <p>1 徳永隆治「自主性を引き出す体育の授業——課題提示場面の組織と指導的評価活動——」(『学校教育』786号)</p> <p>2 森和雄「達成目標の明確化と指導的評価活動——4年生社会科『婦恋村のくらし』の学習から——」(『学校教育』787号)</p> <p>伊東亮三「社会科授業における指導的評価活動のあり方」(同上)</p> <p>2 「特集・『できない子』にどう取り組むか」(『生活指導』309号)</p> <p>前沢泰「『できない』ことがなぜ問題なのか」</p> <p>前沢泰・高橋廉・服部潔・横川嘉範・坂本泰造「〔座談会〕『できない子』——その背景をさぐる」</p> <p>(実践記録・できない子をどう指導したか)</p> <p>近藤謙介「親と教師と子どもの共同の仕事に」</p> <p>梶原吾郎「『できない子』の心と体は閉ざされていた」</p> <p>平良信明「マンツーマン学習で頑張った学級の仲間たち」</p> <p>2 「特集・授業と集団活動をどう関連させるか」(『特別活動研究』184号)</p> <p>豊田久亀「教育目標達成における授業と集団活動の関連」</p> <p>(提言/授業と集団活動をどう関連させるか)</p> <p>国土喬「形だけの『グループ学習』になっていないか」</p> <p>高木敏治「教師の指導性を授業でも確立しよう」</p> <p>(授業と集団活動の望ましい関連)</p> <p>遠藤芳信「授業を充実させる集団活動のあり方」</p> <p>(授業と集団活動を関連させた教育実践(小学校))</p> <p>小林信次「詩の授業」</p> <p>佐藤健男「物語文の読みと班活動」</p> <p>(授業と集団活動を関連させた教育実践(中学校))</p> <p>北林正「グループ学習の必然性」</p> <p>池田憲一「『授業』とかかわった『文化活動』」</p> <p>2 寺尾慎一「授業における個別化と集団化——『学級』教授の再認識と学習集団の指導——」(日本教育方法学会編『教育方法、12、学級教授論と総合学習の探究』明治図書)</p> <p>3 吉本均編『学習集団による授業の改造、小学校低学年』明治図書</p> <p>吉本均「学習集団と授業の成立」</p> <p>豊田久亀「学習集団の指導と授業の質的改造」</p> <p>(学習集団の指導で授業はどう変わったか)</p> <p>生活発表会を通しての集団づくり(松原多恵子)</p> <p>自主・共同の学習規律づくり(早田修三・早田千恵子)</p> <p>応答的に「問いかける」ことで変わる授業(徳永隆治)</p> <p>「みんなで深め合う授業過程の創造」をめざして(井上勝子)</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
83. 3	<p>からみあいわかりあう学習集団（森和雄） 「対立・分化」から「共感・統一」へ（畠山満枝） 実践分析（上野ひろ美・深沢広明）</p> <p>吉本均編『学習集団による授業の改造、小学校中学年』明治図書 吉本均「学習集団と授業の成立」 諸岡康哉「学習集団の指導と授業の質的改造」 〔学習集団の指導で授業はどう変わったか〕 指導的評価活動によって子どもを変える（原田和子） 誇りと喜びを育てる学習規律づくり（村上和子） 全員参加の授業をめざす学習規律づくり（古賀正能） 応答的な「語りかけ」による授業づくり（竹内恒夫） 応答的な「問いかけ」による授業づくり（倉崎一正） 教授行為としての「ゆさぶり」（黒瀬素子） 即知（早くわかったもの）と未知（まだわからないもの）との「からみ合い」（西本正頼） 「対立・分化から共感・統一へ」を中心として（田口幸夫） 実践分析（三橋謙一郎・寺尾慎一）</p>
3	<p>吉本均編『学習集団による授業の改造、小学校高学年』明治図書 吉本均「学習集団と授業の成立」 岩垣撰「学習集団の指導と授業の質的改造」 〔学習集団の指導で授業はどう変わったか〕 自主・共同の学習規律づくり（高石昭博） 応答的な「語りかけ」と学習集団づくり（檜尾勝） 応答的に「問いかける」ことと授業の改造（宿輪育弘） 応答的に「問いかける」を中心とした「お月さんもいる」の授業実践（田中蔚・坂家勝野） 教授行為としての「ゆさぶり」（相原信也） 学習集団における対立・分化から共感・統一へ（河中節恵） 学習集団をつくる教材づくり（山本貞美） 実践分析（杉山緑・湯浅恭正）</p>
3	<p>藤原幸男ほか『どんな学級像を求めていくか』明治図書 藤原幸男「学級づくりにおける学級像の追求 — 教師の指導性をめぐって —」 桑原昭徳「学級のよき伝統の創出と保持 — 『結果としての歴史』から『創造としての歴史』へ —」</p>
3	<p>三原征次ほか『学習規律をどうつくるか』明治図書 三原征次「学習規律づくりがなぜ必要か — 全員参加の授業成立を求めて —」 寺尾慎一「学習集団の質と授業の秩序」 梶井孝「中一、学習規律をどうつくり出したか」 鈴木雅次「中二、学習規律をどうつくり出したか」 新庄久芳「中三、学習規律をどうつくり出したか」 園田公子「授業規律づくりをめざして」</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
83. 3 3 3	<p>首藤昭五「教師から要求し取り組ませていく」</p> <p>近藤勝彦「学級の谷間に光をあてる — 漢字五分間テストで教えあいをどう組織するか —」</p> <p>斎藤功一「生徒と共につくり出す規律」</p> <p>湯浅恭正「全員発言・全員参加の規律の創造」</p> <p>深沢広明「授業モデルとしてのドラマ」（『教育方法学研究』第8巻）</p> <p>高場昭次『人間変革・学力保障の授業創造 — 学習集団の授業入門 —』ぎょうせい</p> <p>「特集・授業を支える学級経営案事例集」（『授業研究』248号）</p> <p>吉本均「『学級における授業』の教育学的成立とは何か」</p> <p>小田切正「学級経営における教師の指導性とは何か」 〔学級経営案の年間見通しをどう立てるか〕</p> <p>阿部好策「ひとりひとりを生かす学級経営案」</p> <p>山下政俊「自主的学習習慣を育てる学級経営案」</p> <p>桑原昭徳「学級の歴史づくりをめざす学級経営案」</p> <p>高田清「学習に取り組む集団をめざす学級経営案」 〔授業を支える学級経営案作成のポイント〕</p> <p>早田修三「小学校低学年段階の作成ポイント」</p> <p>伊沢良治「小学校中学年段階の作成ポイント」</p> <p>坂本泰造「小学校高学年段階の作成ポイント」</p> <p>尾木直樹「中学校段階の作成ポイント」 〔授業を支える学級経営案事例集・小学校〕</p> <p>三浦恭夫「小学一年の学級経営案の事例(1) — 豊かな文化活動をめざす学級づくり —」</p> <p>田中宏明「小学一年の学級経営案の事例(Ⅱ) — 心を開き指導の節目をつくる —」</p> <p>長内美智子「小学二年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 子どもと子どもの関わりをつくり、授業に生かす —」</p> <p>畠山満枝「小学二年の学級経営案の事例(Ⅱ)」</p> <p>佐藤建男「小学三年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 授業に意欲的に立ち向かう学習集団を —」</p> <p>日浦成夫「小学三年の学級経営案の事例(Ⅰ)」</p> <p>岩井幹明「小学四年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 子どもとともに創る学級経営を—」</p> <p>倉崎一正「小学四年の学級経営案の事例(Ⅱ)」</p> <p>藤原義隆「小学五年の学級経営案の事例(Ⅰ)」</p> <p>河中節恵「小学五年の学級経営案の事例(Ⅰ)」</p> <p>小野寺一男「小学六年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 教えることは変えること —」</p> <p>武川圭一「小学六年の学級経営案の事例(Ⅱ)」 〔授業を支える学級経営案事例集・中学校〕</p> <p>吉里良輔「中学一年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 『ブリキの勲章』の感動を集団づくりに —」</p> <p>岡本輝昭「中学一年の学級経営案の事例(Ⅱ)」</p> <p>鈴木博「中学二年の学級経営案の事例(Ⅰ) — 生徒の実態を見つめた学級づくりを—」</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	草苺英郎「中学二年の学級経営案の事例（Ⅱ）— 子どもの進路に視点をすえて—」 辛島和雄「中学二年の学級経営案の事例（Ⅲ）」 山崎貫一「中学三年の学級経営案の事例（Ⅰ）」 榭井孝「中学三年の学級経営案の事例（Ⅱ）— 『卒業式を最高の日に……』 への実践的見通し—」 井口秀美「中学三年の学級経営案の事例（Ⅲ）— 学習を成立させる学級づくり—」
83. 3	長沢憲保「主体を育てる集団の教育力をどう高めるか— 『学級紹介』 のとりくみから—」（『学校教育』 788号）
4	『中学校教育実践選書、11、わかる授業の創造』 あゆみ出版 藤原幸男「教材研究、教材づくりをどうすすめるか」
4	折出健二「授業をどう組み立てるか— 教材への立ち向かわせ方—」 林俊雄「学習主体を育てる体育の授業— 1年生の実践にみる課題提示と指導的評価活動—」（『学校教育』 789号）
	小林一久「『わかる』 授業論とわかりやすさ」 徳永隆治「課題提示場面の構成と指導的評価活動についての検討」（同上） 三橋謙一郎「教師の『ゆさぶり』」
4	小林一久「連載・体育の授業研究」（『体育科教育』 31巻4号～33巻3号） <ol style="list-style-type: none"> 1 体育の授業をどう考えるか（83. 4） 2 わかる体育の授業・その一（83. 5）〔徳永隆治・田中真治と共同〕 3 わかる体育の授業・その二（83. 6）〔同上〕 4 わかる体育の授業・その三（83. 7）〔徳永隆治・林俊雄と共同〕 5 わかる体育の授業・その四（83. 8）〔林俊雄・桑野貢と共同〕 6 体育の授業における発問・その一（83. 9）〔徳永隆治・平川博秀と共同〕 7 体育の授業における発問・その二（83. 10） 8 学力と体育の授業・その一（83. 11） 9 学力と体育の授業・その二（83. 12） 10 学級で教える・その一（84. 1） 11 学級で教える・その二（84. 2） 12 学級で教える・その三（84. 3）〔田中真治・桑野貢と共同〕 13 個と集団・その一（84. 4）〔徳永隆治と共同〕 14 個と集団・その二（84. 5）〔徳永隆治と共同〕 15 個と集団・その三（84. 6）〔徳永隆治と共同〕 16 個と集団・その四（84. 7）〔徳永隆治と共同〕 17 学級集団づくりと体育の授業・その一（84. 8）〔徳永隆治と共同〕 18 学級集団づくりと体育の授業・その二（84. 9）〔徳永隆治と共同〕 19 持久走でのペース感覚の養成・その一（84. 10）〔今崎英明・松田泰定と共同〕 20 持久走でのペース感覚の養成・その二（84. 11）〔今崎英明・松田泰定と共同〕 21 生活班を生かした障害走の授業・その一（84. 12）〔徳永隆治と共同〕 22 生活班を生かした障害走の授業・その二（85. 1）〔徳永隆治・佐々木智彦と共同〕 23 授業の組織化と評価活動・その一（85. 2）〔林俊雄・桑野貢と共同〕 24 授業の組織化と評価活動・その二（85. 3）〔林俊雄・桑野貢と共同〕

年月	著書・論文	所収雑誌・出版社
83. 4	藤原幸男「子どもの側に立つ授業改革論」（『現代教育科学』317号）	
4	吉本均「現状のどこが問題で全員参加が問われるのか」（『授業研究』249号）	
4	吉本均「授業に『出席』することと『参加』すること」（『学校教育』789号）	
5	吉本均編『学習集団による授業の改造、中学校』明治図書	
	吉本均「学習集団と授業の成立」	
	吉本均「学習集団の指導と授業の質的改造」	
	〔学習集団の指導で授業はどう変わったか〕	
	自主・共同の学習規律づくり（高知県香美郡夜須町立夜須中学校）	
	指導的評価活動による学習主体形成（鳥取県東伯郡東郷町立東郷中学校）	
	応答的に問いかけることによる授業改造（大樽睦）	
	「ゆさぶり」と「評価」のある学校に（広島県高田郡吉田町立吉田中学校）	
	授業行為としての「ゆさぶり」（松尾健史）	
	既知（早くわかったもの）と未知（まだわからないもの）との「からみ合い」（兵庫県宍粟郡山崎町立城原中学校）	
	豊かな「授業づくり」をめざして——「対立・分化」から「共感・統一」へ——（秋田県雄勝郡皆瀬村立皆瀬中学校）	
	実践分析（黒田耕司・久田敏彦）	
	長沢憲保「子どもが問いかけ、深めあう授業づくりをめざして」（『学校教育』790号）	
	寺川智祐「子どもが問いかけ深めあう授業づくりをめざして——『空気でっぼう』についての検討——」（同上）	
	中村洋志「子どもが問いかけ深め合う授業について——長沢教諭の授業の検討——」（同上）	
6	徳永隆治「かかわり合い、学び合う自立集団をめざして」（『学校教育』791号）	
	三橋謙一郎「『対面する関係』と『うなずく』関係を育てる指導」（同上）	
6	「特集・一斉授業をどう改善していくか」（『現代教育科学』319号）	
	山下政俊「提案・一斉授業をどう改善していくか」	
	〔提案に対する意見〕	
	多田俊文「一斉授業の否定と一斉事態の改善へ」	
	安彦忠彦「一斉授業の目的と個の基本的尊重への吟味を」	
	野島栄一郎「『学習主体の自立への指導』を中心とした二・三のコメント」	
	吉崎静夫「個人差に対応するための具体的な諸方策」	
	須藤猛「授業で教師の指導性を貫くということこそ」	
	野崎坦良「現場に密着した提案に共感」	
6	折出健二「学習集団研究の総括と研究課題」（『授業研究』252号）	
6	「特集・授業は知的興奮をつくりだしているか」（『高校生活指導』68号）	
6	広島大学附属小学校・学校教育研究会編『自己実現をめざす授業の改造と学習集団』明治図書	
7	吉本均『授業の構想力』明治図書	
7	出原泰明「体育の授業研究と学習集団」（『日本福祉大学研究紀要』第56号）	
7	鈴木秀一「教材づくりの底にある指導」（『学校教育』792号）	
	三橋謙一郎「授業における『出会い』とは何か」（同上）	

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
83. 8	子安潤「達成目標の概念と内容」(『学校教育』793号)
8	藤原幸男『教材文化と学習集団の指導』明治図書
8	児山正明『話し合い・討論の指導』明治図書
8	愛生研学習集団研究部『学習集団をどう育てるか』明治図書
8	大西忠治・授業技術研究所編『国語教育評論』第2号、明治図書
	折出健二「教師の指導言とは何か、2、発問と助言の関係について」
	〔大西論文「学習集団とは何か」をめぐって〕
	高田清「『学習集団』概念の成立の根拠について」
	豊田久亀「目標概念としてさらなる整理を」
	桑原昭徳「『教科内容』と『学習集団』の間にあるもの」
8	「特集・“困った授業態度”をどう確立させるか」(『授業研究』254号)
	野崎坦良「低学年に多い悪い授業態度とその指導」
	浅見慎一「高学年に多い悪い授業態度とその指導」
	小出湧三「中学校に多い悪い授業態度とその指導」
	小野寺一男「学習のきまりを破る時・どうするか」
8	吉本均「連載・小集団を生かした指導の個別化」(『学習指導研修』65～68号、
	83. 8～11)
	1 小集団(班)の教育的役割(83. 8)
	2 共感能力を育てる集団づくり(83. 9)
	3 小集団学習をどうするか(83. 10)
	4 個人差を授業展開の原動力に(83. 11)
9	前沢泰「授業と学習集団の指導」(『生活指導』317～332号)
	1 学習における子どもの内的状況(83. 9)
	2 学習における子どもの内的状況(2)(83. 10)
	3 学習における子どもの内的状況と授業成立のための当面の課題(1)(83. 11)
	4 授業成立のための当面の課題(2)(83. 12)
	5 授業成立のための当面の課題(3)(84. 1)
	6 授業成立のための当面の課題(4)(84. 2)
	7 授業びらき(1)(84. 2)
	8 授業びらき(2)(84. 4)
	9 授業びらき(3)(84. 5)
	10 授業びらき(4)(84. 6)
	11 授業びらき(5)(84. 7)
	12 授業びらき(6)(84. 8)
	13 授業びらき(7)(84. 9)
	14 教材分析と授業(84. 10)
9	豊田久亀「授業に班を導入する——集団を生かした学習活動——」(『子どもと教育』
	83. 9)
9	豊田久亀「連載講座、一斉指導の中の個別化」(『学習指導研修』83. 9～84. 3)
	1 個別化ではなく個別的接近を(83. 9)
	2 自己実現に役立つ学習の保障(83. 10)

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	3 個別化の目的をさぐる（83. 11） 4 古くて新しい問題（84. 1） 5 一人ひとりへの働きかけ（84. 2） 6 個を生かす教材解釈（84. 3）
83. 10	徳永隆治「一人ひとりを運動学習の主体にする教材づくり」（『学校教育』794号） 長沢憲保「『ねうちの高まり』を競い合う学級づくり」（同上）
10	吉本均「授業における指導と自己実現の弁証法を」（『現代教育科学』323号）
10	「特集・学習の規律をどう確立させるか」（『特別活動研究』192号）
	豊田久亀「学習規律づくりがなぜ必要か」
	〔提言・自主連帯の学習規律をどうつくり出すか〕
	三原征次「学習規律の指導に展望を」
	杉山緑「要求としての評価活動を」
	野崎坦良「子どもを見つめて複合した指導を」
	〔学習規律の確立をめざす指導のポイント〕
	湯浅恭正「学級づくりを土台にした学習規律づくりとは」
	坂本泰造「小学校段階の学習規律づくり」
	榎井孝「中学校段階の学習規律づくり」
	〔小学校の実践／学習規律をどうつくり出したか〕
	河中節恵「仲間づくりを基盤にした学習規律づくり」
	倉崎一正「一人ひとりを高める学習規律づくり」
	上野伊三夫「自覚的な学習規律をどう育てるか」
	小野寺武男「学習する主体者として育てることこそ」
	〔中学校の実践／学習規律をどうつくり出したか〕
	丹沢芳明「助け合い、協力し合う学習活動」
	斎藤功一「意欲的に学習にとりくむ姿勢を」
	井口秀美「学習規律、深化のプロセス」
11	折出健二「さいきんの『学習集団論』の問題点」（『現代教育科学』324号）
11	吉本均「『知的伝達』の授業指導論的解明を」（『現代教育科学』324号）
12	三橋謙一郎「授業における『指導技術』に関する基礎的考察」（『徳島文理大学研究紀要』第27号）
12	「特集・学習主体としてどう育てるか」（『生活指導』321号）
	浅野誠「子どもを学習主体としてどう育てるか」
	〔実践記録・学習主体として育てる指導をどうすすめたか〕
	坂本泰造「石田と学級の子どもたち」
	阿部昇「国語の授業を通して」
	小林正洋「『全員ができる』ことへの挑戦」
	北林正「主体的な学習のちから」
12	長沢憲保「子どもを学習主体に育てる授業を求めて」（『学校教育』797号）
	林俊雄「一人ひとりを育てる学習集団と体育の授業」（同上）
84. 1	吉本均編『講座・授業成立の技術と思想、1、人間を「人間にする」授業』 明治図書

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
84. 1	<p>吉本均「人間を人間にすることと教育の可能性」 太田悦生・折出健二「現代における人間的自立と国民的基礎教養」 権藤誠剛「学校理念の近代的成立と現代の課題」 井谷善則「学力・発達の保障と学校教育の課題 — 養護学校教育を中心として —」 折出健二「子どもの自治と教師の権威」 上野ひろ美「応答的關係における子どもの自立過程」 高田清「戦後授業理論の再検討 — 学習集団論をめぐる論争を中心に —」 豊田久亀「学習集団としての授業の成立」 小林一久「授業における個と集団のドラマ — 体育の授業研究を中心として —」</p> <p>1 桑原昭徳「『よそよそしい』授業を学び合いの授業にするために」(『学校教育』798号)</p> <p>2 恒吉宏典「発達への働きかけとしての評価活動」(『学校教育』799号) 長沢憲保「『ねうちの高まり』を競い合う学級づくり — 『終わりの会』を核として—」(同上)</p> <p>2 吉本均「授業における『ゆさぶり』とは何か」(『教育科学・国語教育』328号)</p> <p>3 畠山満枝『学習集団の指導技術入門、小学校低学年』明治図書</p> <p>3 早田修三『学習集団の指導技術入門、小学校中学年』明治図書</p> <p>3 野崎坦良『学習集団の指導技術入門、小学校高学年』明治図書</p> <p>3 恒吉宏典ほか「授業展開における教師の指導技術=『タクト』の実証的研究」(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第12号)</p> <p>3 権藤誠剛・戸塚茂則「『学習集団』の授業分析とその教授学的意義」(『教育方法学研究』第9巻)</p> <p>3 中村洋志「自己実現をめざす授業の改造と学習集団 — 本校研究の歩みから —」(『学校教育』800号) 徳永隆治「学習主体を育てる体育科授業の改造と学習集団 — 4年跳び箱運動の教材づくりと課題提示場面の構成 —」(同上) 小林一久「いのちの大事さを教える」(同上) 中村洋志「『認識と練習の統一』をめざした教材づくりと体育学習」(同上)</p> <p>4 長沢憲保「『つまづき』を核にした授業の展開(1)」(『学校教育』801号)</p> <p>4 吉本均「連載講座・学級づくりと授業づくり — その統一と分化 —」(『特別活動研究』198~209号)</p> <p>1 人間を「人間にする」教育 — その原点とは何か(その1) — (84.4)</p> <p>2 人間を「人間にする」教育 — その原点とは何か(その2) — (84.5)</p> <p>3 人間を「人間にする」教育 — その原点とは何か(その3) — (84.6)</p> <p>4 「主体=客体」の弁証法(その1) — 身体の教授学 — (84.7)</p> <p>5 「介入」の教授学 — 「主体=客体」の弁証法(その2) — (84.8)</p> <p>6 「否定」のなかに「肯定」を見る — 「主体=客体」の弁証法(その3) — (84.9)</p> <p>7 説得の教授学 — 「主体=客体」の弁証法(その4) — (84.10)</p> <p>8 「指さし」の教授学 — 「主体=客体」の弁証法(その5) — (84.11)</p> <p>9 「問い」の教授学 — 「主体=客体」の弁証法(その6) — (84.12)</p> <p>10 タクトの教授学 — 「主体=客体」の弁証法(その7) — (85.1)</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
84. 4	<p>11 指導案の教授学 — 「主体＝客体」の弁証法（その8） — （85. 2）</p> <p>12 教授の知 — その三つの原点（85. 3）</p> <p>高田清「連載講座・学級のリーダーを育てる」（『特別活動研究』198～209号）</p> <p>1 なぜ学級のリーダーを育てる必要があるのか — その1（84. 4）</p> <p>2 なぜ学級のリーダーを育てる必要があるのか — その2（84. 5）</p> <p>3 教師の「指導性」とリーダーの「指導性」（84. 6）</p> <p>4 リーダーの指導性の「内容」について（84. 7）</p> <p>5 教師の指導性の「内容」とリーダーの指導性の「内容」の違いについて（84. 8）</p> <p>6 現代社会と「リーダーを育てる」教育的意味（84. 9）</p> <p>7 子どもの発達段階とリーダーの指導(1) — 幼児期のリーダー指導 — （84. 10）</p> <p>8 子どもの発達段階とリーダーの指導 — リーダー指導と認識・内面世界の形成 — （84. 11）</p> <p>9 リーダーを育てる指導の原則について（84. 12）</p> <p>10 リーダーの指導と認識・内面世界の形成（85. 1）</p> <p>11 学習リーダーの指導(1) — 自治的集団のリーダーの指導と学習集団のリーダー — （85. 2）</p> <p>12 学習リーダーの指導(2) — 組織的力量と教科的力量の形成 — （85. 3）</p>
4	坂本泰造『教師の力量をどう高めるか』あゆみ出版
4	<p>「特集・授業に取り組む学級づくり計画事例」（『授業研究』264号）</p> <p>吉本均「学級づくりと授業づくりの一体化」</p> <p>〔授業に取り組む学級づくりの実践課題は何か〕</p> <p>小野拓男「低学年段階の学級づくりの実践課題」</p> <p>桑原昭徳「中学年段階の学級づくりの実践課題」</p> <p>藤原幸男「高学年段階の学級づくりの実践課題」</p> <p>遠藤芳信「中学校段階の学級づくりの実践課題」</p> <p>〔授業に取り組む学級づくり計画のポイント〕</p> <p>武川圭一「低学年の学級づくり計画のポイント」</p> <p>岡田克三「中学年の学級づくり計画のポイント」</p> <p>倉崎一正「高学年の学級づくり計画のポイント」</p> <p>佐藤博之「中学校の学級づくり計画のポイント」</p> <p>〔授業に取り組む学級づくり計画の事例〕</p> <p><小学一年></p> <p>相川敏治「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」</p> <p>下田利知子「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」</p> <p>遠藤惟也「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅲ）」</p> <p><小学二年></p> <p>小林信次「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」</p> <p>徳田 敬「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」</p> <p><小学三年></p> <p>日浦成夫「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」</p> <p>早田修三「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」</p>

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p><小学四年> 石川景一「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 河中節恵「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 <小学五年> 近藤謙介「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 加藤元康「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 <小学六年> 金子節子「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 算中嘉則「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 <中学一年> 丹沢芳明「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 斎藤功一「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 <中学二年> 深沢孝二「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 八代健児「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 <中学三年> 井口秀美「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅰ）」 末永 浩「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅱ）」 岡田 要「授業に取り組む学級づくりの計画（Ⅲ）」</p>
84. 4	吉本均「ドラマとしての授業の成立」（『教育科学・国語教育』331号）
4	吉本均「子どもたちが学習主体となるとき——応答的な『場所と時間』の共有——」（『学校教育』801号）
4	吉本均「『学級で教える』ことの豊かな可能性を」（『現代教育科学』329号）
4	桑原昭徳「授業と学習集団」（柴田義松編『総論・教師の仕事』明治図書）
5	「特集・自律を育てる「学習のしつけ」」（『授業研究』265号）
5	林俊雄「わかり、できる体育の授業と教師の働きかけ」（『学校教育』802号）
6	桂正孝・恒吉宏典編『生活指導の計画と展開』第一法規 高田清「集団づくりと規律」 折出健二「学級集団と学習集団」
6	大西忠治・授業技術研究所編『国語教育評論』第3号、明治図書 折出健二「教師の指導言とは何か、3、『方法』の伝達と指導言」 ～第3回・学習集団とは何か～ 石川正和「『学習』概念の再検討を」 藤原幸男「『学習の集団的性格』をめぐって」 野崎坦良「現場が求めているもの」
6	折出健二「学習集団研究の総括と研究課題」（『授業研究』267号）
6	豊田久亀「学習習慣のしつけ・その教育的意義」（『児童心理』463号）
6	広島大学附属小学校『学習主体を育てる授業の改造と学習集団——授業における教師の働きかけ——』広島大学附属小学校
6	岩垣撰・山口修平・宮嶋邦明『個人差・個性を生かす授業とは』日本標準
7	吉本均「自主性を育てる全員参加の授業」（『学習指導研修』76号）

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
84. 7 7 7	<p>吉本均「主体的経験のドラマをこそ」（『教育科学・社会科教育』259号） 「特集・いま、高校の授業はどうなっているか」（『高校生活指導』74号） 山下政俊「学習主体を育てる教師の指導性」（『学校教育』804号） 中村洋志「算数科における教師の働きかけ」（同上） 徳永隆治「個性を生かした集団過程の指導——かかわり合い、学び合う中で育つ学習主体——」（同上）</p>
8	<p>吉本均編『講座・授業成立の技術と思想、2、学習主体形成と評価活動』明治図書 豊田久亀・藤原幸男「指導における『専制』と『放任』——その問題史的考察——」 豊田久亀「大正期新教育の授業指導論」 藤原幸男「戦後授業実践史における子ども＝指導観——60年代中頃以降の授業実践と子ども観——」 石川正和「子どもの人格発達と学習主体形成」 折出健二・黒田耕司「自治的集団づくりと主体形成」 戸塚茂則「自治的集団づくりと授業の成立」 山本敏郎・黒田耕司「学習主体形成における競争と賞罰」 諸岡康哉「学習規律の形成と評価活動」 桑原昭徳「学級の歴史づくりの思想と学習主体形成」 岩垣撰「学校教育の構造と陶冶と訓育の統一」 恒吉宏典・深沢広明「『学級教授』の成立原則」</p>
8	<p>吉本均編『講座・授業成立の技術と思想、3、授業設計のストラテジー』明治図書 中野和光・子安潤「授業ストラテジーの可能性と今日的意義」 武村重和・諸岡康哉「教育課程と学力の設計」 山下政俊「教材・問題の構成と子どもの認識の設計」 子安潤「『見えないもの』から『見えるもの』への教材づくり」 寺尾慎一「『教えること』の成立と授業の構想力」 長沢憲保「授業の構造と授業展開の論理」 本田敏明「教材の特質と学習行為の特性に応じた授業方法」 岸光城「授業設計の技術」 三橋謙一郎・中野和光「授業改造と教育評価の課題」</p>
8	<p>吉本均編『講座・授業成立の技術と思想、4、教授行為と能動的学習の成立』明治図書 吉本均「授業における『技術』概念成立の可能性と課題」 藤原幸男「『能動性』概念の本質と授業展開」 山本順彦・中原正博「能動的学習の成立」 三原征次「授業における生活・労働の教授学的意義」 杉山直子「教師の『語りかけ』と『説得』の論理」 朴炳鶴・久田敏彦「教師の『問いかけ』の思想と論理」 阿部好策「レトリックの思想と主体形成の論理」 三橋謙一郎・小野拓男「教授行為としてのタクト」 湯浅恭正「授業における『からみ合い』とレトリカル・コミュニケーション」</p>
8	<p>吉本均編『講座・授業成立の技術と思想、5、わかる授業のドラマの展開』明治図書 杉山緑「『わかりやすさ』の原理の史的展開」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>豊田久亀「授業における形式主義の克服」 久田敏彦「集団思考の組織化と『わかりやすさ』の原理」 武田紘一「問題解決学習における『わかりやすさ』の原理」 中野和光「教育工学の発展と授業の『わかりやすさ』」 五十嵐二郎・加納幹雄「小集団学習による授業改造の可能性」 白石陽一・湯浅恭正「『学ぶこと』の成立とその論理」 深沢広明「ドラマとしての授業の成立—『制度』としての授業から『ドラマ』としての授業へ—」</p>
84. 8	折出健二『人間的自立と教育』明治図書
8	坂本光男・折出健二編『講座・中学生問題、3、学習にとりくむ集団をどう形成するか』明治図書
	<p>藤原幸男「授業をめぐる諸問題と教師の課題」 池田憲一・折出健二「なぜ学習に集団でとりくむか」 折出健二「教科指導にとって学習集団とは何か」 安島文男「生きるちからとなる学力をどう形成するか」 中野学「中学生が『学ぶ』とはどういうことか」</p>
8	山下政俊「授業と生活指導をめぐる今日的課題」（日本生活指導学会編『生活指導研究』第1号、明治図書）
	折出健二「学習における集団をどうとらえるか」（同上）
9	「特集、授業の『ヤマ場』と学習集団」（『学習集団研究』第10集、明治図書）
	〔理論編〕
	吉本均「授業の『ヤマ場』と学習集団」
	古賀佐徳「ドラマとしての授業と教師集団」
	野崎坦良「授業の質を高める学習集団」
	〔実践編〕
	窪田喜代子「国語『三日月』の授業と学習集団」
	尾崎明「国語『井戸』の授業と学習集団」
	山崎国佐「社会『武士の世の中』の授業と学習集団」
	小玉賢治「算数『場合の数』の授業と学習集団」
	早田修三「国語『山芋』の授業と学習集団」
	神代克彦「国語『最後の授業』の授業と学習集団」
	〔解説編〕
	寺尾慎一「『三日月』の授業分析」
	高田清「『井戸』の授業分析」
	宮本光雄「『武士の世の中』の授業分析」
	中野和光「『場合の数』の授業分析」
	杉山直子・山本敏郎「『山芋』の授業分析」
	権藤誠剛「『最後の授業』の授業分析」
	〔研究編〕
	大槻和夫「国語教育と学習集団」
	片上宗二「社会科における『わかる』ことの分析的検討」

年月	著書・論文 所収雑誌・出版社
84. 9	<p>小林一久「体育科教育と学習集団」</p> <p>「特集・勉強のおもしろさをどう教えるか」（『生活指導』331号）</p> <p>前沢泰「勉強のおもしろさとは何か」</p> <p>服部潔「勉強の好きな子、嫌いな子」</p> <p>〔実践記録・勉強のおもしろさをどう教えたか〕</p> <p>須藤猛「こんなに勉強がおもしろかった — 教師がおもしろいと思った時、子どもおもしろい —」</p> <p>谷内博司「奥寺堰物語 — 版画の授業 —」</p> <p>小島昌世「お化け騒動始末記」</p> <p>山下政俊「授業研究の現在」</p>
9	<p>吉本均「目が開き、顔が応え、身体が表現する授業」（『授業研究』270号）</p>
10	<p>林俊雄「子どもの心をゆさぶる体育の授業研究 — わかり、できる授業研究の視点から —」（『学校教育』807号）</p>
	<p>長沢憲保「『つまずき』を核にした授業研究の展開(2)」（同上）</p>
10	<p>山口大学教育学部付属光中学校『わかり合う授業の構想と展開』明治図書</p>
10	<p>吉本均「授業研究における『参加意識』の育成 — 授業がドラマとして成り立つとき —」（『教育展望』30巻9号、教育調査研究所）</p>
10	<p>桑原昭徳「自主的活動を育てる実際の指導の構築を」（日本教育方法学会編『教育方法、13、いま授業で何が問われているか』明治図書）</p>
11	<p>大槻和夫「ひとりひとりを生かす授業研究の基礎 — 読みの指導の場合 —」（『学校教育』808号）</p>
12	<p>吉本均「対話を可能にする授業研究の条件」（『現代教育科学』337号）</p>
12	<p>恒吉宏典「ひとりひとりを大切に学習集団への教育的見とおし」（『学校教育』809号）</p>
	<p>徳永隆治「かかわり合い、わかり・できる授業研究の構成 — 個別性を大事にしなが生活班ですすめる障害者の授業 —」（同上）</p>
	<p>小林一久「生活班による体育授業の組織化」（同上）</p>
	<p>林俊雄「体育の授業における評価活動とその組織化」（同上）</p>
12	<p>折出健二「共感とわかるすじ道 — 授業を思想化する手だて —」（『歴史地理教育』376号）</p>